

	CGI365Lib は Python3 で作った CGI ライブラリで Request と Response クラスを含む。				
	Request クラス				
No	メソッド	パラメータ	戻り値	機能	備考
1	Request()	なし	Request オブジェクト	コンストラクタ	
	self.RawData		受信した生データ(文字列)	クライアントから受け取った生データ	
	self.Query		辞書	QUERY_STRING をデコードした辞書	
	self.Form		辞書	POSTされたフォームをデコードした辞書	
	self.Method		文字列	メソッド (GET,POSTなど)	
	self.Address		辞書	キー 'Server', 'Client', 'Host' からなる辞書	サーバアドレス、クライアントアドレス、HTTP_HOST
	self.Cookie		辞書	受信したクッキー	
2	getParam(self, key)	key: パラメータのキー	キーに対応するパラメータの値	パラメータの値を返す。	GET または POST
3	btos(self, bstr="")	bstr: b'...' 形式の文字列 (RawData)	b'...'の中身	b'...'の中身を取り出す。	
4	parseFormData(self, s="")	s: FormData の生データ。s="" の場合は、self.RawData を使う。	辞書	フォームの変数名:値の辞書を返す。	
5	parseJSON(self, s="")	s: JSON の生データ。s="" の場合は、self.RawData を使う。	辞書	JSON の生データ (self.RawData) から辞書を作る。	
6	fromPercent(self, ps="", plus=True)	ps: URLエンコードされた文字列。s="" の場合は、self.RawData を使う。	文字列	URLエンコードされた文字列をデコードする。	
7	toPercent(self, s, plus=True)	ps: URLエンコードしたい文字列。	文字列	文字列をURLエンコードする。	
8	_getQuery(self)	なし	辞書		内部で使用
9	_getForm(self)	なし	辞書		内部で使用
10	_getMethod(self)	なし	文字列		内部で使用
11	_getCookie(self)	なし	辞書		内部で使用
12	_getAddress(self)	なし	辞書		内部で使用
	Response クラス				
No	メソッド	パラメータ	戻り値	機能	備考
1	Response()	なし	Response オブジェクト	コンストラクタ	
2	setCookie(self, cookies)	cookie: 送信するクッキー用の辞書	なし	Set-Cookie 行を作るためのデータとして保存される。	クッキーは HTML を出力するときに同時に出力される。
3	makeCookie(self)	なし	Set-Cookie 行	Set-Cookie 行をHTTPヘッダに追加する。	
4	sendString(self, s, mime="text/html; charset={ENC}", cookie=True, embed=None)	s: 文字列 mime: MIME charset: 文字コード cookie: True ならクッキーを返す。 embed: s に埋め込む変数の辞書	なし	設定に基づいて文字列を出力する。	クッキーも出力。
5	sendSimple(self, s)	s:文字列	なし	デフォルトの設定に基づいて文字列を出力する。	utf-8, text/plain
6	sendBinData(self, data)	data: バイナリーデータ	なし	octet-stream としてデータを出力する。	
7	sendJSON(self, data, mime="application/json; charset={ENC}")	data: オブジェクト mime:MIME	なし	data を文字列に変換して出力する。	application/json
8	sendText(self, path)	path: テキストファイル	なし	テキストファイルの内容を出力する。	text/plain
9	sendHtml(self, path, cookie=True, embed=None)	path: HTMLファイル cookie: Trueならクッキーも出力 embed: HTML に埋め込む変数の辞書	なし	HTMLファイルを出力する。	text/html

10	sendImage(self, path)	path: 画像ファイル	なし	画像ファイルを出力する。	jpg, png, gif, svg
11	sendVideo(self, path)	path: 動画ファイル	なし	動画ファイルを出力する。	mp4, webm, ogv
12	sendAudio(self, path)	path: 音声ファイル	なし	音声ファイルを出力する。	mp3, m4a, wav, ogg
13	sendFile(self, path, mime)	path: ファイル mime: MIME	なし	mime で指定したファイルを出力する。	
14	redirect(self, url)	url: URL	なし	url で指定したサイト/ページへリダイレクトする。	
15	header(self, headers)	headers: ヘッダの辞書	なし	HTTP ヘッダを出力する。	
	クラスに含まれない変数や関数				
No	変数または関数	パラメータ	戻り値	機能	備考
1	ENC			文字コード。デフォルトは UTF-8、	
2	LOG			ログの出力境のパス名	ウェブサーバが書き込みできること。
3	isDebug()	なし	デバッグモードのとき True	コマンド引数に "debug" が指定されているときに True を返す。	コンソールから起動する場合に使用する。
4	setQueryString(qs)	qs: GET メソッドの時の URL パラメータ	なし	デバッグモードのとき、環境変数 QUERY_STRING の内容を設定する。	
5	setHttpCookie(cookie)	cookie: HTTP_COOKIE の内容を設定する。	なし	環境変数 HTTP_COOKIE の内容を設定する。	
6	setRequestMethod(method)	method: REQUEST_METHOD の内容	なし	環境変数 REQUEST_METHOD の内容を設定する。	
7	info(obj)	obj: ログファイルに出力するオブジェクト	なし	LOG で指定したファイルに obj を文字列に変換して追加する。	LOG が空文字の場合は、何もしない。